

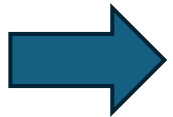
# 博士課程の体験談 - キャリアってなに -

量子ダイナミクス研究室 D2 鄭 潤賢

# 博士課程の過ごし方は 千差万別

※ 基本修士と変わらない人がほとんどなのは

- 研究室のスタイル
- 研究分野（出張多いとか、チームで研究しているとか、…）
- 個人の興味関心
- 所属する学位プログラム
- etc.



自分の研究室の博士の先輩に相談するのが一番いいと思う

# 私の博士課程生活

- M1 から AIE 卓越大学院プログラムに所属  
※ 研究奨励費 月20万円 + その他収入、個人の研究費 年50万円
- 基本空き時間は研究  
※ M1 からスタイルはそこまで変化なし
- 今は週3でインターン、それ以外は研究 or 私生活  
※ インターンはこれまで5社、計6か月（AIE の修了要件は4か月）
- 今年は就活もやっていた

# 私の博士課程生活

- M1 から AIE 卓越大学院プログラムに所属  
※ 研究奨励費 月20万円 + その他収入、個人の研究費 年50万円
- 基本空き時間は研究  
※ M1 からスタイルはそこまで変化なし
- 今は週3でインターン、それ以外は研究 or 私生活  
※ インターンはこれまで5社、計6か月（AIE の修了要件は4か月）
- 今年は就活もやっていた



たまに聞かれる質問

なんで博士のキャリアを選んだの？

そもそもキャリアってなに？

## 辞書的な意味

過去から将来の長期にわたる職務経験やこれに伴う計画的な能力開発の連鎖

引用: [厚生労働省「キャリアコンサルティング・キャリアコンサルタント」](#)



最近は人生の経歴一般を指すようことも多い印象

# 辞書的な意味

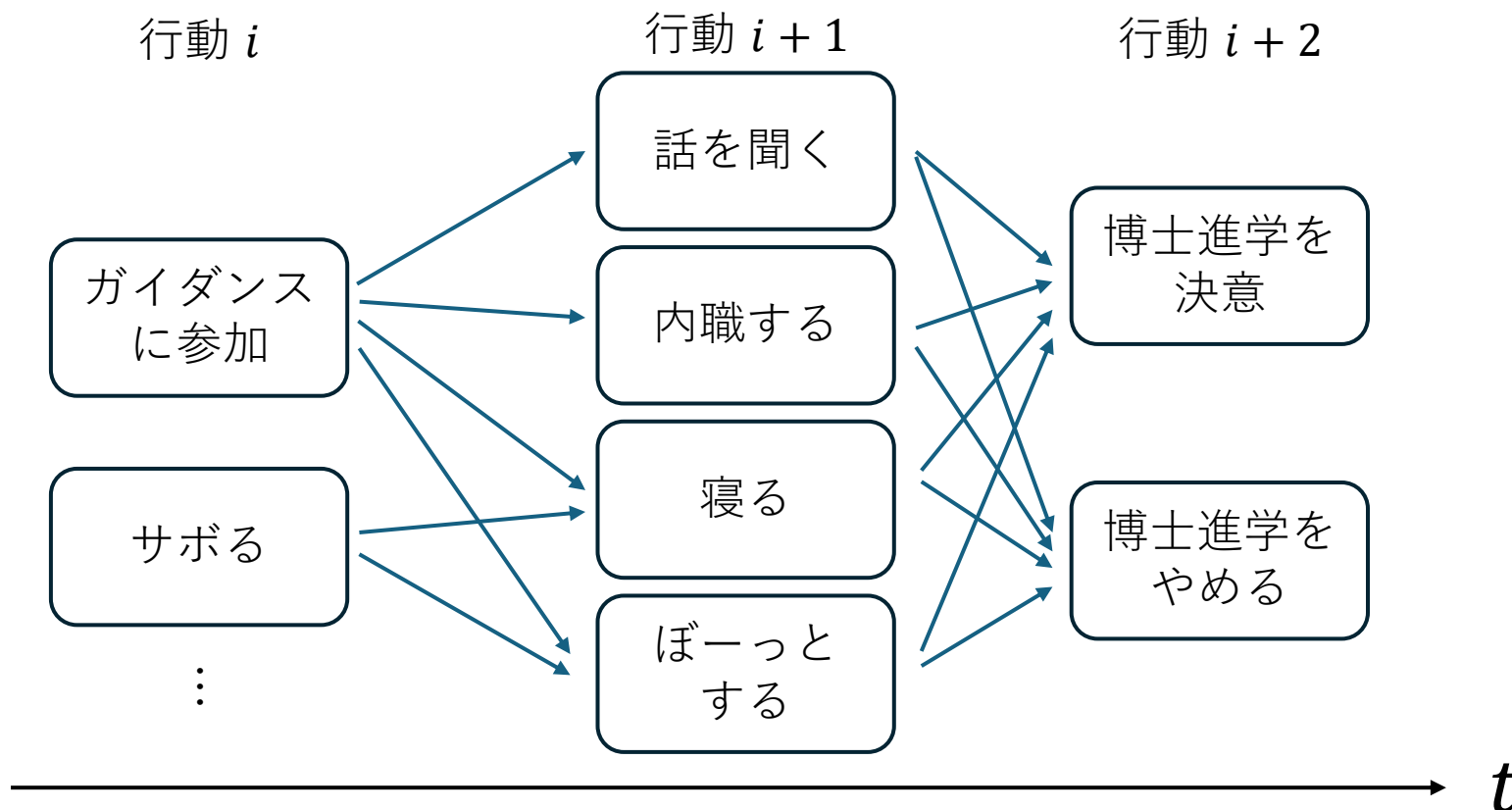
過去から将来の長期にわたる職務経験やこれに伴う計画的な能力開発の連鎖

引用: [厚生労働省「キャリアコンサルティング・キャリアコンサルタント」](#)

➡ 最近は人生の経歴一般を指すようことも多い印象

## ここでの定義

人の行動の時系列



# 辞書的な意味

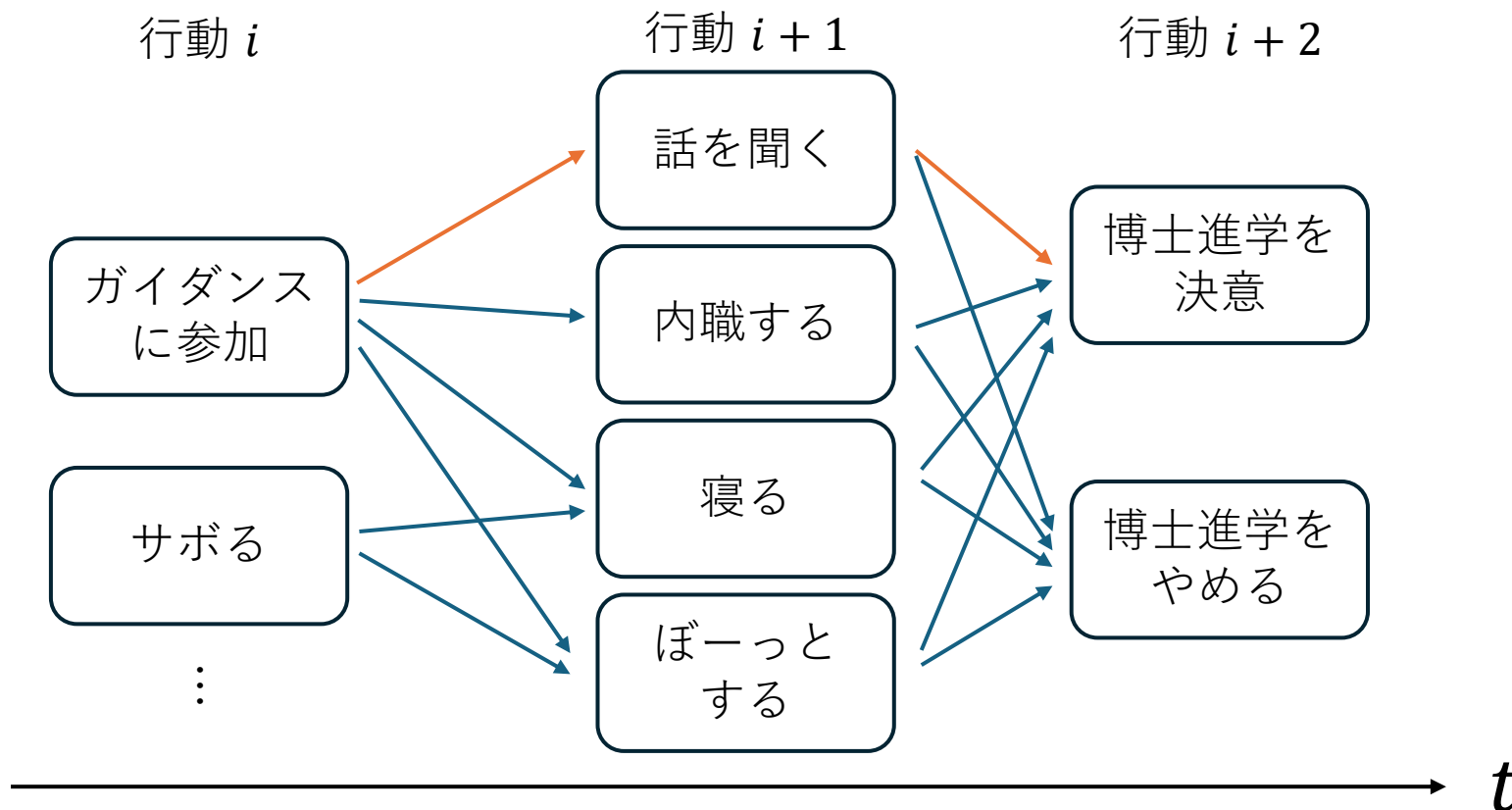
過去から将来の長期にわたる職務経験やこれに伴う計画的な能力開発の連鎖

引用: 厚生労働省「キャリアコンサルティング・キャリアコンサルタント」

➡ 最近は人生の経歴一般を指すようことも多い印象

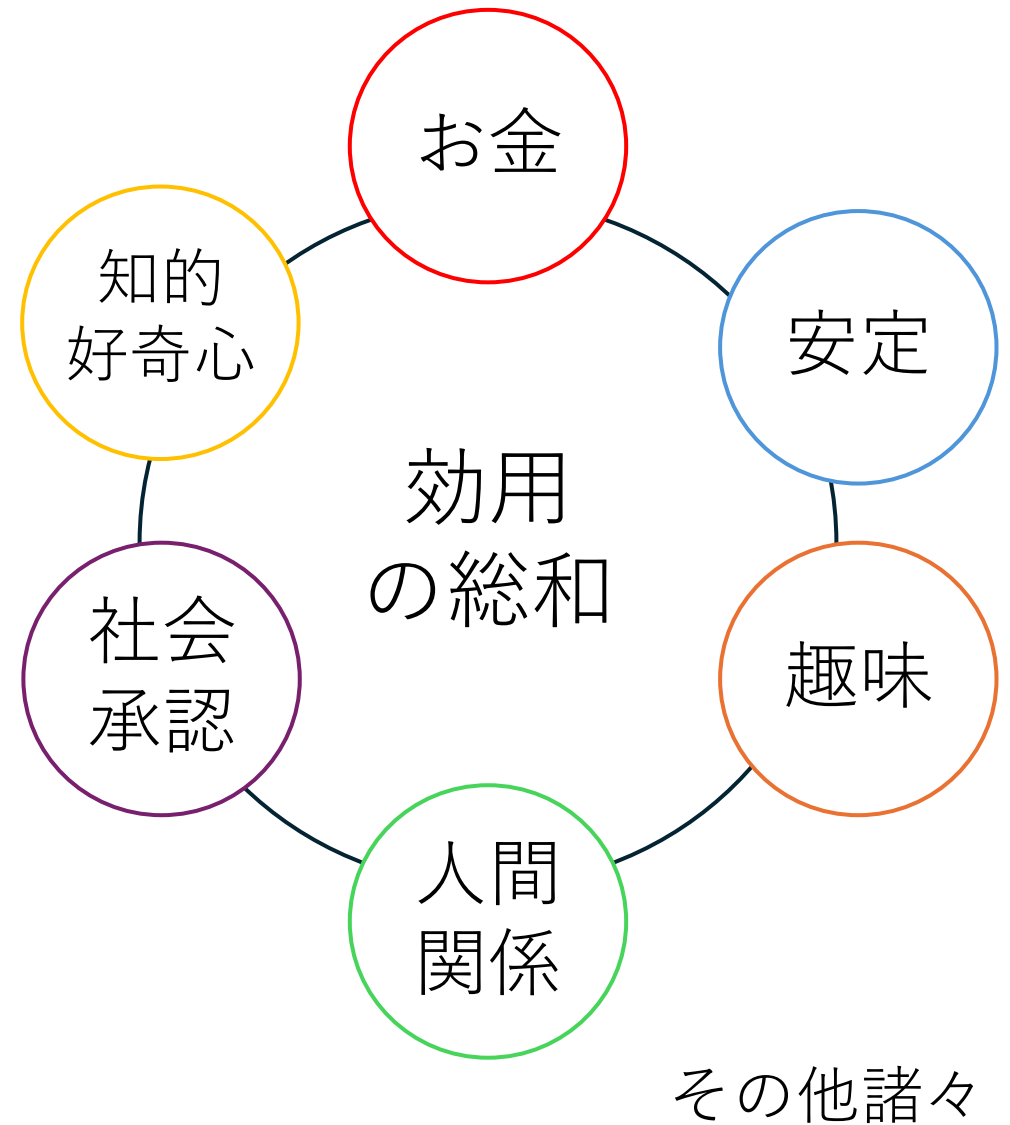
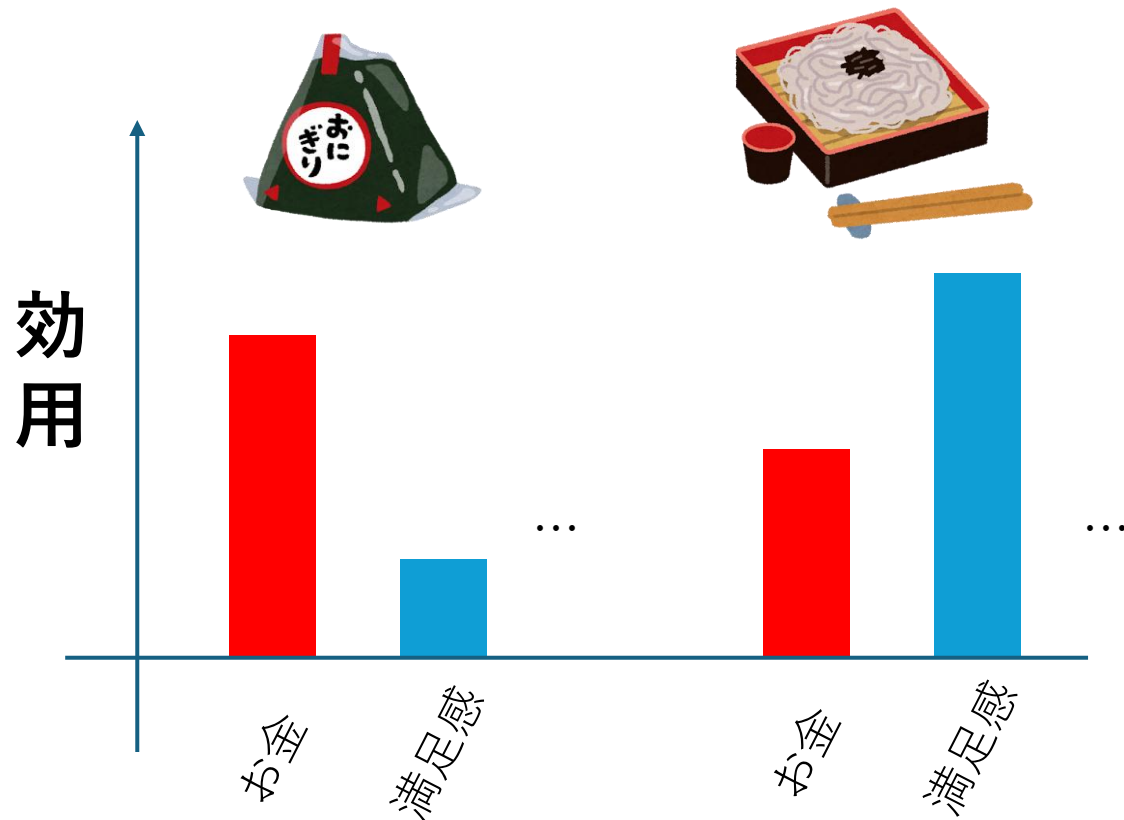
## ここでの定義

人の行動の時系列

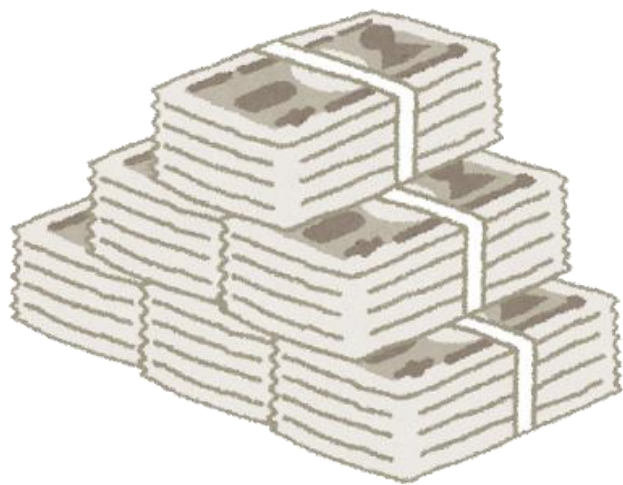


# 行動決定の原理

行動は  
「**効用が最大化するように決定される**」  
としましょう

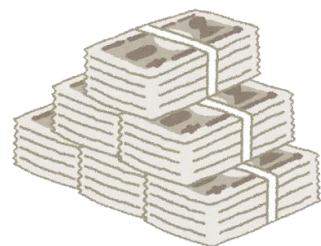


目の前に  
「10億円」と「万物の理論が理解できる本」  
があります。どちらを選びますか？



# 効用の性質

## 個体差



効用

Aさんが10億円を選んだ場合



Bさんが10億円を選んだ場合



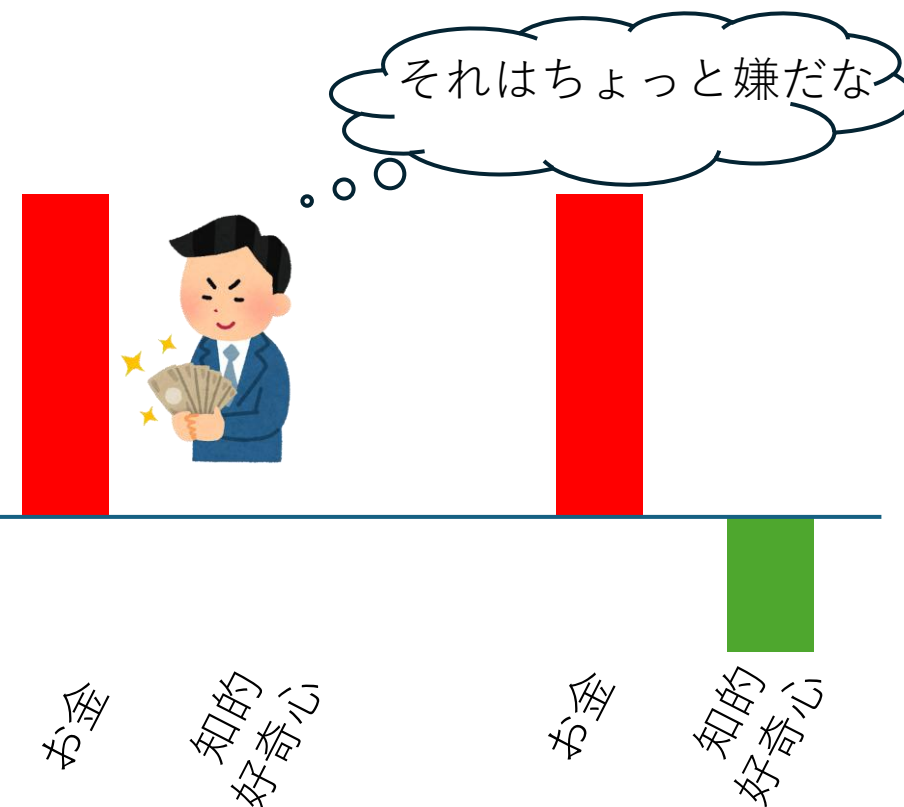
お金

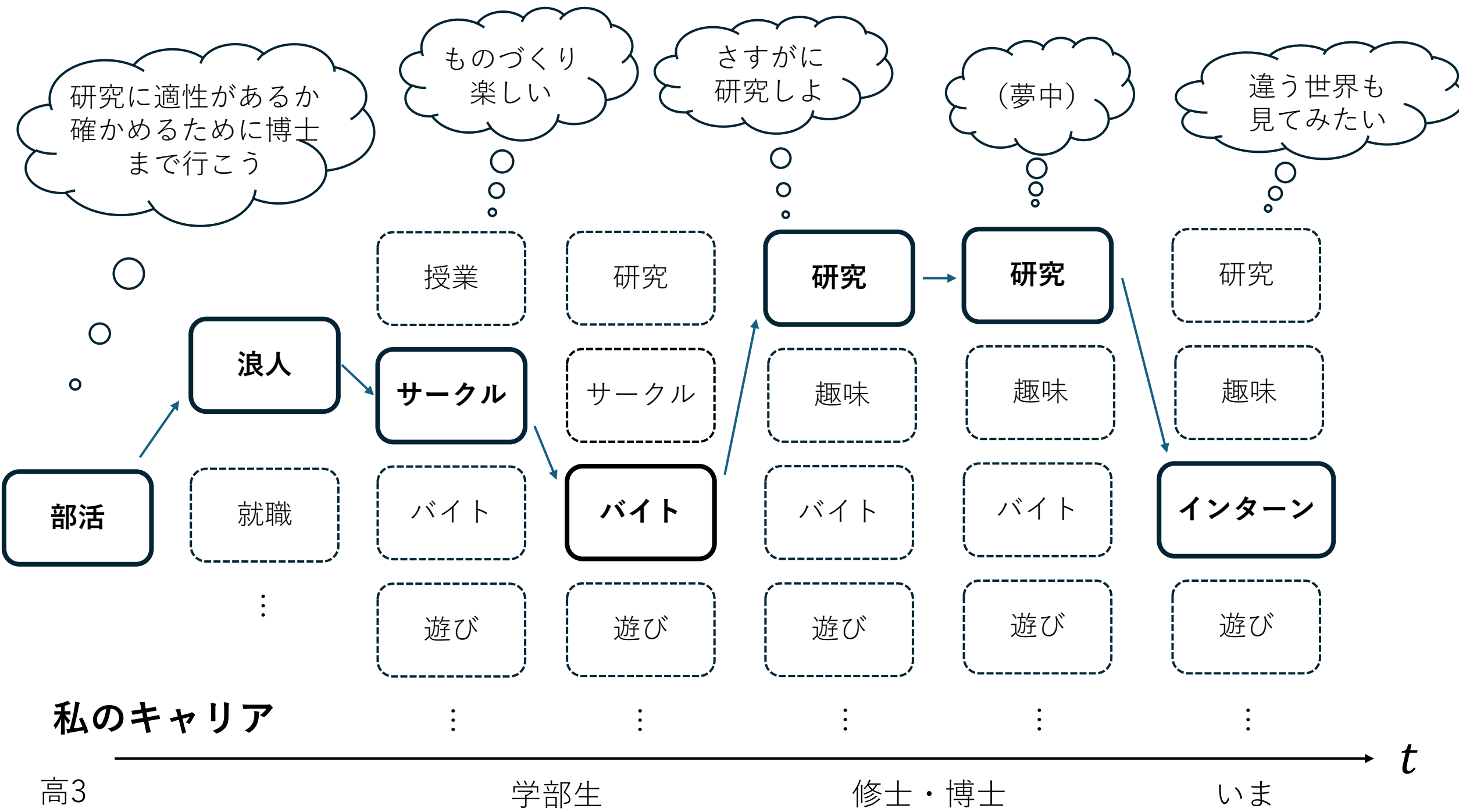
お金

## 情報

追加情報：  
10億円を選んだ場合、一生文字が読めなくなります

効用

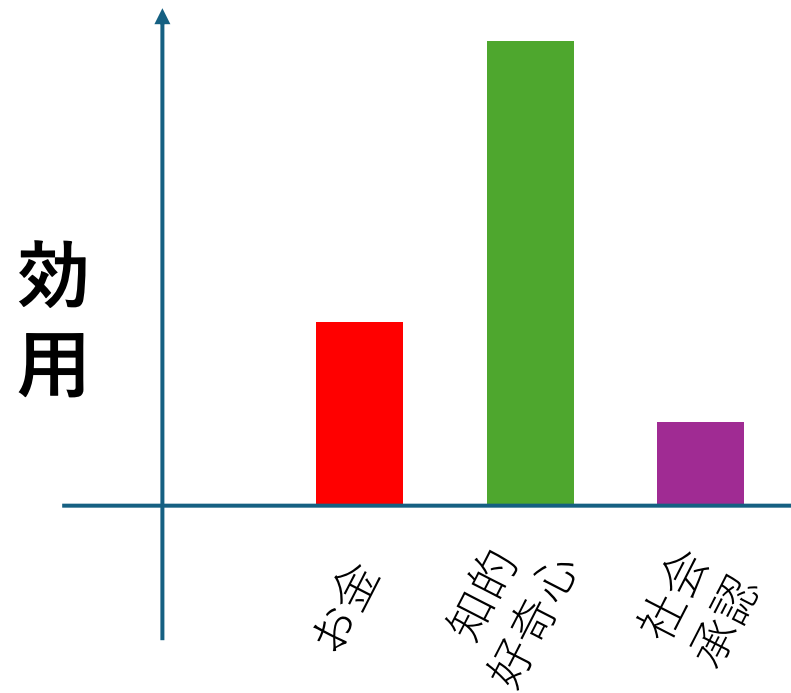




振り返ってみると、

- 知的好奇心に従うような行動ばかりだった（たまに辛くても続けていた）
- 自分の行動をサポートしてくれる人たちに囲まれていた
- 経済面は研究奨励費で充足されていた
- やりたいことが出来る時間が与えられた

} 特に博士課程で享受したもの



...



自分にとって知的好奇心が重要だったのか

行動の観察から  
効用の推定

# さいごに

学位プログラム・就活・インターン等は  
質疑応答で聞いてください<m(\_\_)m>

- 自分の行動履歴から自分の効用を考えてみるといいかも
  - 考えすぎ注意
  - 効用は日々更新される（今日の自分は昨日の自分ではない）
- 就職はなんとかなる（と思う）
  - 修士か博士かより、その人と働きたいか・貢献してくれそうかで選んでいる
- 若さ・体力・時間は有限
  - いまやりたいことを全力でやればいいと思う
  - 博士課程への進学を後悔したことは一回もなかった

自分を実験し、観測し続けよう。